

第9回 学生記者海外派遣にご応募いただいた皆様、保護者の皆様へ

謹啓 陽春の候、第9回 学生記者海外派遣にご応募いただいた皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。日頃、信濃毎日新聞をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

さて、皆様にご応募いただいた今回の学生記者派遣事業は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止させていただくことといたしました。夢と希望を胸にご応募いただいた皆様の気持ちを思うと大変心苦しく申し訳ございませんが、ご容赦ください。

一番の理由は、米国内での取材準備ができないためです。米国では急激な感染拡大に伴い、訪問を予定していたニューヨーク州で在宅勤務が義務付けられるなど人の移動が厳しく制限されています。また、秋に予定される大統領選挙にかかわる取材についても、予備選挙が通常通り行われるかどうかさえ見通せなくなっているとのこと。このように、現地の取材に向けた段取りがまったく進まず、出発までに準備できる見通しが立たなくなりました。

また、米国への渡航は自粛を求められる「レベル2」に引き上げられており、予定する時期に問題なく渡米できるかどうかははっきりしておりません。学生記者を安全に引率し、かつ充実した活動にできる確証が持てない状況となっており、主催者として、苦渋の決断をせざるを得なくなりました。

私たち主催者一同、一日も早く世界的な感染拡大が収まり、学生記者の皆さんが安心して米国に赴き活動できる日が来ることを願ってやみません。ぜひ、次回の応募に再度チャレンジしていただけることを期待しております。その日に向けて、新学期からも健康に気を付けて、新聞を読んで世の中の出来事に広く関心を持ち、自分の考えをまとめる力を日々養っていただきたいと思います。末筆になりますが、皆様の健康と一層の活躍をお祈り申し上げます。

謹白

令和二年四月三日

一般社団法人長野県新聞販売従業員共済厚生会理事長 宮坂博昭